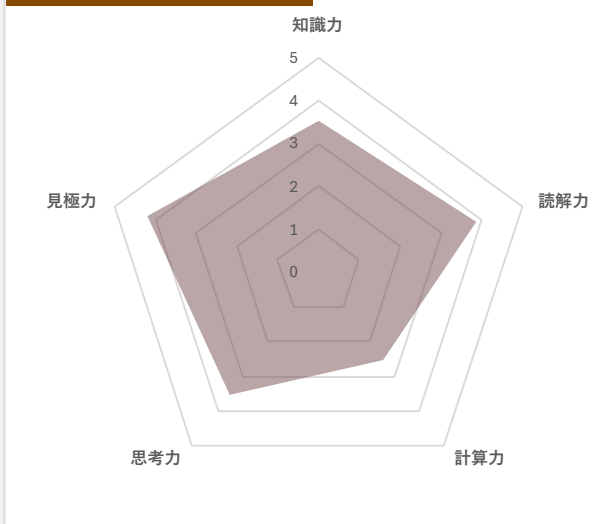


総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	60分(理科2科120分)	大問数	全3問
------	---------------	-----	-----

合格に要する能力 (5段階)



出題分野	
理論	56%
無機	0%
有機	44%

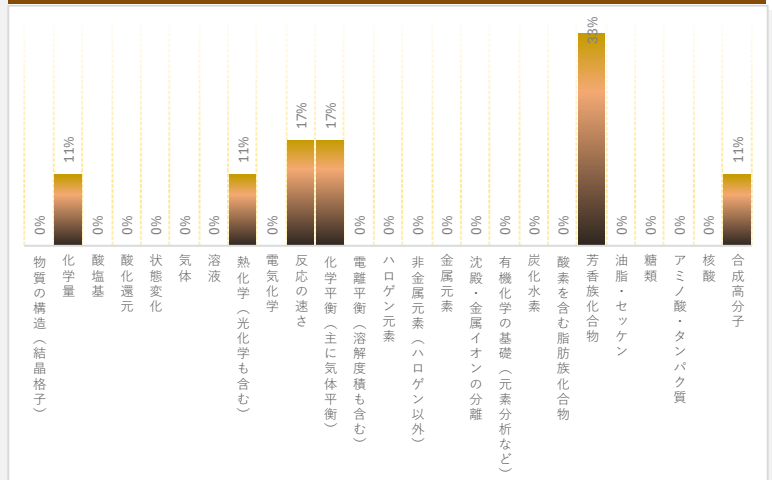
本年度出題テーマ一覧	
第1問	小問集合
第2問	併発反応の反応速度
第3問	芳香族化合物の構造決定

本年度 解答形式
答えのみ記述 100%

合格に要する能力 (5段階)

能力	スコア	説明
知識力	3.3	物質, 反応, 解法の知識
読解力	3.7	問題文から必要な情報を抽出できるか
計算力	2.3	手際よく正確に計算できるか
思考力	3.3	基礎知識や問題文から推測する力
見極力	4.0	解きやすい問題を選択する力

本年度 出題詳細分類



特殊問題の有無	数値計算あり	グラフなし	正誤問題なし	理由記述なし	図表あり
---------	--------	-------	--------	--------	------

特記事項: 化学反応の熱力学的支配と速度論的支配が出題された。

総合評価

難度	3.2	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率(予想)	70%
分量	50分	完答に要する時間(制限時間は60分)	やや少ない	標準	

入試の特徴と対策: 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校化学の学習でよい。

入試から見る大学が求める学生像: 大問2は、大学院入試でも出題される内容を、受験生でも解けるように誘導をかけた良問で、読解力によって差がついたと思われる。したがって、暗記や典型論点だけでなく、初見の問題でも取り組める、思考力と読解力を持つ生徒を求めていると考えられる。